

【2021年度 事業報告】

きょうとグリーンファンドは活動開始から21年となりました。収まったかに思えた新型コロナウイルス感染症が再度広がり、活動はかなり制限されたものとなりました。事業に取り組むべくさまざまな方法で模索しましたが、企画した催しも延期、中止が相次ぐことになりました。

社会活動全体は引き続き低調ではありましたが、オンラインの活用や在宅ワークなど、きょうとグリーンファンドでもコロナ禍における新たな活動の形態がひろがってきました。しかしながら、コロナ以前の活動と遜色ない活動にはたどり着けてはいないと言えるでしょう。「直接会って話をする」ことが意思の疎通に大きな役割を果たす貴重な時間であったことを、改めて感じずにはおれません。

そのような中、日本も「2050年カーボンニュートラルの実現」に向けた検討が進み、「2030年度温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指す」具体的な取り組みが進められようとしています。

このような状況で、きょうとグリーンファンドの活動の軸となるおひさま発電所の設置に向けて、5つの団体と連携した新しい枠組み「市民再エネプロジェクト in 京都」が整い、活動を始めました。残念ながら、2021年度中の設置は実現しませんでした。さまざまな団体との出会いもあり、今後につながるものと思います。

環境学習も「緊急事態宣言」が解除された後、実施できた施設もありますが、見送られた施設もあり、例年より減少しました。また、新しいプログラムの開発を検討しましたが、実施には至りませんでした。

会員数は、正会員、35名、賛助会員は24名、団体会員は6団体となっており、大きな変化はありません。

太陽光発電設備設置事業

きょうとグリーンファンドが広げてきたおひさま発電所ですが、新しく「市民再エネプロジェクト in 京都」として、NPO 法人京都地球温暖化防止府民会議、認定NPO 法人気候ネットワーク、一般社団法人市民エネルギー京都、NPO 法人エコネット近畿と連携し進める枠組みが整いました。特に「福祉避難所」を対象として取り上げてみましたが、反応は全くと言っていいほどありませんでした。なぜ関心が低いのか、はっきりとした理由を掴むことができていませんが、京都市の担当者を講師に学習会を開催して感じたことは、「現実的な関心、切迫感」はないに等しく、私たちの「独りよがり」であったかもしれません。

2021年度は枠組み作りに少し時間がかかったこと、コロナ禍での緊急事態宣言が秋まで出されていたことなどもあり、残念ながら設置は実現しませんでした。訪問、面談した施設は、山城福祉会宇治川福祉の園、深草こどもの家、京都聖母学院幼稚園、うたの・ひこばえ児童館などです。

学習活動

新型コロナウイルス感染予防のため、予定していた環境学習を取りやめる園もあり、少し件数が減りましたが、新たに上鳥羽北部いきいき市民活動センターによる地域に向けた自然観察会が行われました。環境腹話術を行う前におひさま発電所設置後10年を経過した

園の先生にアンケートを実施しました。おひさま発電所を設置した意義が伝わっているか、エコな園に進化しているか、環境学習がその手助けになっているかを知る機会になりました。おひさま発電所の事を知らない先生もいらして、園での継承の必要性を園長先生も感じられ、我々も現場でのご苦労などを知ることが出来ました。

① 環境腹話術 (3件) 講師：畠山智子さん

～温暖化防止や環境への取り組みをテーマとした子ども対象のプログラム

6/30 大宮保育園 (87人参加)

11/4 聖光幼稚園 (62人参加)・・・国際ソロプチミスト京都ーわかぼとの連携で開催

11/24 みょうりんえん (210人参加)

② 自然観察会 (4件) 講師：板倉豊さん

10/16 上鳥羽北部いきいき市民活動センター (上調子公園) (30人参加)

10/26 大宮保育園 (府立植物園) (30人参加)

11/6 みょうりんえん (京都御苑) (50人参加)

11/26 おおやけこども園 (京都御苑) (66人参加)

サポート活動

京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センター (以下いきセン) に対して環境活動のサポートをしています。

おひさま発電所設置後、いきセンとパートナーシップを組み、上鳥羽学区でのエコ活動を進めました。昨年に引き続き、コロナ禍の中、夏の夜市など自治会関連の行事は中止、エコ体験イベントと自然観察会のみ開催しました。特にボランティアグループ OHANA 会と協力して開催した自然観察会は、地域の子ども、保護者 30 名あまりの参加があり、子どもも大人も興味を持てる内容に、楽しかったとの声が多数寄せられました。

「エコと防災イベント」については 2021 年度中の開催を目指し、3 回企画しましたが、延期となりました。

- ・ 10/16 自然観察会
- ・ 11/13 エコ体験イベント

広報活動

① ニュースレター「ぐりふあんレター」の発行 (7月、3月)

② 印刷物作成

- ・ 市民再エネプロジェクト設置施設募集チラシ

③ ホームページを使った情報の発信

- ・ 活動状況・節電・省エネルギーについての情報などを会員、一般市民に向けて発信
- ・ 活動状況をきめ細かく発信できるようブログ、Facebook を更新
- ・ 上鳥羽北部いきいきおひさまプロジェクトのおひさま発電所設置後の活動を紹介する、ホームページ (<http://www.ktb-ohisama.net/>) で上鳥羽北部いきいきおひさま発電所の発電状況、2020 年度事業報告を掲載
- ・ YouTube「きょうとグリーンファンド・ぐりふあんチャンネル」に動画を掲載しました。

寄付について

さまざまな形で寄付をいただきました。

総額 1,634,933 円

- ・既設おひさま発電所からの寄付 (7件) 655,000 円
- ・一般からの寄付 942,195 円
- ・自動販売機寄付 (㈱シェアリングマネジメントサービス) 13,738 円
- ・おひさまでんきプロジェクト寄付 24,000 円

また、3月から「SoftBank つながる募金」の利用を開始しました。クレジット寄付、継続寄付にも対応しています。

講演、事例報告、出展

- ・5/9 脱原発カフェにて事例報告 (オンライン)
- ・5/14 立命館大学にて「NPO・NGO 論」ゲストスピーカーとして事例報告(オンライン)
- ・6/30 府地球温暖化防止活動推進員に「市民再エネプロジェクト」の説明(オンライン)
- ・11/17 京都市出前トーク「福祉避難所をしていますか？」(オンライン併用)

ヒアリング調査、取材、見学など

- ・3/19 ㈱サンワコン「京都市が行う環境教育・学習に関する取り組み状況等の調査」ヒアリング(オンライン)

協力・連携

- ・認定NPO法人気候ネットワーク
- ・認定NPO法人環境市民
- ・京都府地球温暖化防止活動推進センター
- ・有限会社ひのでやエコライフ研究所
- ・京エコロジーセンター
- ・京のアジェンダ21フォーラム
- ・京都市ごみ減量推進会議
- ・自然エネルギー学校・京都
- ・NPO法人KES環境機構
- ・KGPN (旧 京都グリーン購入ネットワーク)
- ・国際ソロプチミスト京都ーわかば
- ・一般社団法人上鳥羽絆会 (旧 中唐戸児童館運営委員会)
- ・京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センター
- ・公益財団法人パブリックリソース財団
- ・ネオス株式会社
- ・株式会社シェアリングマネジメントサービス
- ・太陽ガス株式会社 (代理店 : Happy Energy)
- ・パワーシフト・キャンペーン
- ・京都市市民活動総合センター
- ・Fridays for Future Kyoto
- ・SoftBank つながる募金

以上の団体と協力、連携しました。